

大阪 21 世紀の新環境総合計画の点検評価結果（毎年度サイクル）について （環境総合計画部会報告）

1. 開催状況

<日時・議題>

令和2年8月11日 第1回部会

(1) 環境の状況及び講じた施策に係る点検・評価について

(2) 重点的な点検・評価について 対象分野：低炭素・省エネルギー社会の構築

全てのいのちが共生する社会の構築

魅力と活力ある快適な地域づくりの推進

(3) 現計画の進捗状況について

2. 点検評価結果の概要

評価結果：施策事業は概ね順調に進んでいる。

環境の状況及び講じた施策に係る点検・評価、現行計画の進捗状況について

施策事業等名称	主な指摘・意見	府の回答
地球温暖化対策 (普及啓発)	コロナ禍を踏まえた啓発手法を検討も必要ではないか。	ウェブを活用した形での参加やシンポジウムの開催など新しい啓発手法について検討していく。
生物多様性 (認知度)	学校でも生物多様性の普及啓発をしているため、認知度に関して学生や生徒を対象としたアンケート調査など検討してはどうか。	認知度の把握について、今後、小中学校の生徒を対象としたアンケート調査についても検討していく。
みどり (みどりがあると 感じる府民の割合)	みどりがあると感じる府民の割合の調査結果には地域差があるため、地域別の課題の抽出やそれに応じた対応をしてはどうか。	地域別のデータを分析するなどして、今後のみどり計画にかかる取組みの参考にしていく。
景観 (重点評価の評価 項目)	「ビュースポットおおさか」など景観に関する取組みをされているため、評価項目としてはどうか。 ※現在は、魅力ある景観の形成の評価項目として「景観計画区域における建築物の届出件数」を評価項目として挙げている。 ※ビュースポットおおさか：大阪の魅力ある景観（ビュースポット）を募集し選定・発信するプロジェクト	頂いたご意見及びその他の取組みについても確認し、適宜、評価項目の見直しを図っていく。
進捗評価の手法	施策としては概ね想定どおり実施されているが、分野によっては計画がめざす目標の達成は厳しいなど目標との乖離が見られる。どのように進行管理していくのか。	現行計画は今年度が最終年度であり、来年度、総合レビューを行う際にその要因なども含めて整理する。 また、今後の適切な進捗管理手法についても検討していく。

(参考) 現行の環境総合計画の分野構成について



目指すべき将来像

府民がつくる暮らしやすい、環境・エネルギー先進都市